

(資料49) 研究所関係新聞記事一覧

年月日	タイトル	新聞社名
15.4.2	環境ホルモン 魚使い国際検証試験 OECD 日独の4社が参加	環境
4.14	環境ホルモン 分析に共通基準 OECD	日経
4.15	有害物質、選択し吸着 国環研や東洋インキ 高分子材料で安く	日経産業
4.18	環境省、神栖のヒ素調査へ 来週から汚染経路など	読売
4.18	神栖ヒ素説明会 住民に不安広がる 毒ガス兵器に戸惑い	茨城
4.21	遺伝子組み換え生物 生態系への影響を調査 国立環境研究所など5機関 交配・繁殖を追跡	日経
4.23	バラ抽出成分にうつ病抑制効果 ネイチャーテックなど確認	日経
5.12	ダイオキシン汚染 アジア途上国にも拡大 5都市のごみ処理場調査 住民摂取量、WHO基準の9倍にも	毎日(夕)
5.13	ダイオキシン アジアのごみ埋め立て地 濃度高く主要発生源	茨城
5.15	神栖ヒ素汚染 8月めどに調査開始 環境省検討会 計画案作成急ぐ	茨城
5.19	旧日本軍の毒ガス 相次ぐ健康被害 よみがえる「負の遺産」 地下水は要注意 埋蔵物から毒性溶出も 政府、全国調査実施へ	毎日
5.21	排ガスによるナノ粒子の生態影響研究 自工会と国立環境研	日刊工業
5.22	汚染の仕組み把握し再生へ 釧路湿原3湖沼調査 7月から水質や生態など総合的に	北海道
6.16	自動車排ガスのナノ粒子 健康への影響共同で研究 自工会・国立環境研	日経産業
6.17	根室・落石小の5,6年生 学んだ地球温暖化 国立環境研の施設訪問	北海道
6.19	クワガタ雑種化 在来の野生種から外国産特有DNA	朝日(夕)
6.20	ディーゼル排気微粒子 DEP酸化毒性の評価 遺伝子発現が指標 国環研が解明	日刊工業
6.23	世界湖沼会議、米で開幕	毎日
6.25	世界湖沼会議 リンの再生策を発表 武田薬品と国立環境研 富栄養化回避に活路	茨城
6.25	“基底膜”を作製、冷凍保存 国環研が手法確立 細胞培養時の利用簡単に 培養期間短縮や耐性アップも	日刊工業
6.29	人気者は電気自動車	朝日
6.29	神栖の井戸水混入 髪・つめでヒ素検査 環境省臨床検討会	毎日
6.29	移入種はびこり雑種増殖 遺伝子かく乱でクワガタ巨大化	日経
7.1	国立環境研 遺伝子組換え技術で環境浄化 大気汚染原因物質・環境ホルモンを吸収	ニッポン消費者新聞
7.5	神栖ヒ素 調査終了、データ分析へ 環境省 29日の説明会で報告	茨城
7.8	国環研研究員が西洋人紀行調査 見直そう農村の小道、段々畑 古き良きモノ、風景計画に活用へ	日本工業
7.9	神栖ヒ素 土壌分析、25日に結果 2次調査、8月中旬以降か	茨城
7.13	住民35人、健康診断 神栖のヒ素被害 毛髪とつめを採取	茨城
7.13	ごく微量ダイオキシン 母親から子へどう影響?	赤旗
7.17	環境税、炭素1トン3400円 環境省新試算 目的税化し温暖化対策	朝日
7.23	光るメダカ 日本に上陸 遺伝子組み換えで作製 生態系乱す恐れも	読売(夕)
7.24	発生源の砂漠が多雨…観測、昨年7文の1『黄砂』激減 最新観測機器“肩透かし”	読売(夕)
7.26	井戸近くに汚染源か 神栖のヒ素被害 底部で基準値536倍 環境省 来月にも調査再開	茨城
7.26	欧米人が見た江戸・明治期の風景記述をまとめた	赤旗
7.29	長野で気球観測 山風 立体的に調査 都市部の温暖化対策に	読売(長野版)
7.30	クワガタの雑種化発見	読売
8.2	神栖のヒ素450倍井戸周辺 汚染源絞り込みへ 第2次調査開始 地下水脈を分析	朝日
8.5	神栖ヒ素 20メートルまで掘り下げへ 環境省 汚染源調査を本格化	茨城
8.9	船舶塗料の有機スズ化合物 ヒラメ、メスからオスに 環境ホルモン作用 九州大など研究 脊椎動物で確認	朝日
8.10	電磁波リスクで会議	朝日
8.14	外来動植物の侵入 遺伝子解析で影響追跡	日経産業
8.20	地方環境研でこ入れ 環境省、04年度から 複数研究所で共同研究 温暖化防ぐ技術の開発	茨城
8.25	先進環境技術でHPにフォーラム 環境省など	日刊工業
9.3	神栖ヒ素 井戸くみ上げ開始 汚染源の位置絞り込みへ	茨城
9.5	オゾンホール発達 気象庁発表 大きさを過去2番目 国立環境研が裏付ける測定	毎日
9.6	オゾン層破壊の歯止め役 窒素酸化物が大幅減 南極上空 国立環境研が初確認	茨城
9.8	オゾン層破壊雲 南極上空で多発 環境省観測	日経
9.13	住民25人からヒ素化合物 神栖の汚染 県の毛髪検査で検出	読売
9.15	電磁波と健康を議論 発がん性再評価	茨城
9.15	ナノテックで環境計測 環境省が機器開発	日経
9.17	海の“呼吸”観測に成功 CO2吸収、季節や海域で違い	読売(夕)
9.20	神栖ヒ素被害発覚から半年 原因究明難航 続く汚染 住民支援開始も不安消えず	茨城
9.26	追想録 温暖化対策で行政支える 森田恒幸さん	日経(夕)
10.4	悼 東奔西走 研究に殉ず 環境経済学の第一人者 森田恒幸さん	毎日
10.6	科学反映する政策求め闘う 温暖化防止追求した環境研究者 森田恒幸さん	朝日(夕)

10.10	高度15～20キロのオゾン完全破壊 生態系への影響懸念	毎日
10.11	南極オゾン層観測 破壊速度、最高に	朝日
10.12	「温暖化」抑止に心血 国立環境研究所社会環境システム領域長 森田恒幸さん	読売
10.18	神栖のヒ素 汚染源、複数の可能性 ポーリングの結果 調査検討会が示唆	読売
10.18	神栖・ヒ素問題 汚染源特定、難航の恐れ 少なくとも三ヵ所？	朝日
10.18	汚染源、広範囲に複数 神栖ヒ素調査、環境省見解 特定、除去に難航も	茨城
10.19	温暖化研究者	読売
10.30	バイオマス・洋上風力発電 水素製造に活用 国立環境研、技術開発へ	日経産業
11.12	電磁波と発がん性 WHOが来年にも指針 冷静に健康リスク評価を	読売
11.18	ナノテク事業化支援 茨城県と日立など 連携組織設立 つくばの研究施設活用	日経産業
12.3	対策の歩み遅いが危機感徐々に浸透	朝日
12.24	環境ホルモン 割れる研究成果 試験法の統一めざす	読売(夕)
16.1.23	利便性アップへ意欲	茨城
1.31	雑種クワガタに2代目 繁殖力確認、在来種に脅威	朝日(夕)
2.1	公園の土や砂 鉛で汚染 東大など関東で調査 車の排ガスで蓄積	朝日
2.12	PCB廃棄 広域処理体制ようやく安全確保、料金設定など課題	読売
2.18	神栖のヒ素中毒 汚染物質所在地絞る 環境省検討会 基準の3300倍検出 新年度に本格掘削調査	朝日
2.21	JAL旅客機でCO2連続観測 温暖化対策に反映へ 文部科学省 シベリアなど「空白域」を解消	毎日(夕)
3.10	外来クワガタ、脅威広がる	読売(夕)
3.22	CO2濃度遠隔測定 国環研、上空10* ₀ 付近まで立体的に 観測の空白域埋める	日経
3.31	研究者連携糸口探る 住民の「協働」不可欠	朝日